

Q. タウンバスに学割を

A. 連携計画を踏まえ、慎重に実施していく



栗田 昌子 議員



タウンバスに学割を

Q とよやまタウンバスは、学生の利用が少ない。名古屋市内に通学する学生の学割や定期券等の制度を導入して、学生の便宜を図るべきである。

A 現在、地域公共交通総合連携計画を策定している。本計画では、とよやま

タウンバスの新しい乗車サービスとして、定期券の導入を予定している。特に、通学定期券については、先行して導入を検討する。

定期券の導入に当たっては、利用者負担の軽減や積み残し発生の抑制等に留意しながら、慎重に進める。

Q. 高齢者の買い物難民

対策を

A. 町独自サービスで対応

Q 高齢で運転免許証を返上しなければならぬ。

しかし、車がなくなれば、買い物はどうしよう。足腰も弱くなり、車のない生活に不安を覚えているお年寄りが増えている。介護認定までは行かない狭間のお年より支援をどうするか。町としての施策は何か。

よる、買い物を始め掃除、洗濯等の生活支援事業を行っている。この事業では、介護保険の要介護認定では「自立」判定であったが、ひとり暮らし等の高齢者で、緊急・一時的に生活支援が必要となる場合には、豊山町ケア会議で要介助者認定を受けるだけで、利用できる事業である。

『その他の質問』
名古屋空港問題

A 地域事情により対策は異なる。高齢者の日常的な生活不安を解消するため、介護保険サービスとは別に、町独自サービスとして、ホームヘルパーの派遣に